

小野市議会だより

2025.11
No. 219

開拓碑

開拓神社
(大開町)

旧満州

からの帰還者40戸あまりが昭和21年に草加野地区（現在の大開町、万勝寺町の一部）に入植。原野を手作業で開墾し、サツマイモやジャガイモ等を作付け。高所に位置している為、水源に乏しかったが、昭和33年に東条ダムの揚水に成功し、耕地が水田化され、町民の生活が安定するようになった。

宿望の水田化は、昭和三十一年着工、全三十三年六月東条ダムの揚水に成功し、今や三十町歩の美田を見る。かくて他方、乳牛飼育、煙草耕作と相俟って、漸く生活の基盤を築く。これ一に我等の親和と協力による開拓精神の象徴である。

「一部抜粋」



一般会計決算

令和6年度の一般会計決算は、9月17日(水)、18日(木)の2日間、予算決算常任委員会で集中審査を行い、9月29日(月)の本会議で全会一致で認定しました。

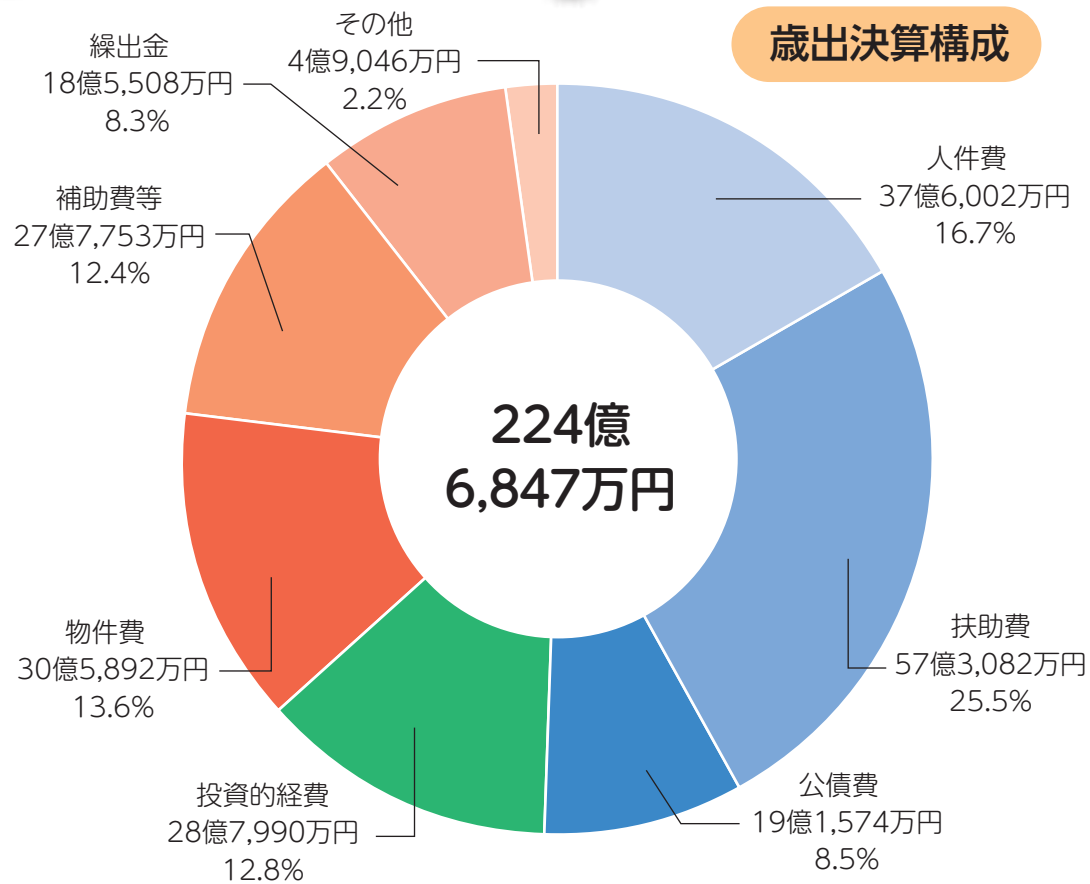
令和6年度決算をチェック



使ったお金

歳出 224億6,847万円

歳出決算構成



義務的経費… 職員の人件費や生活保護などの扶助費、地方債の元利償還金などで任意に削減することが困難な経費。

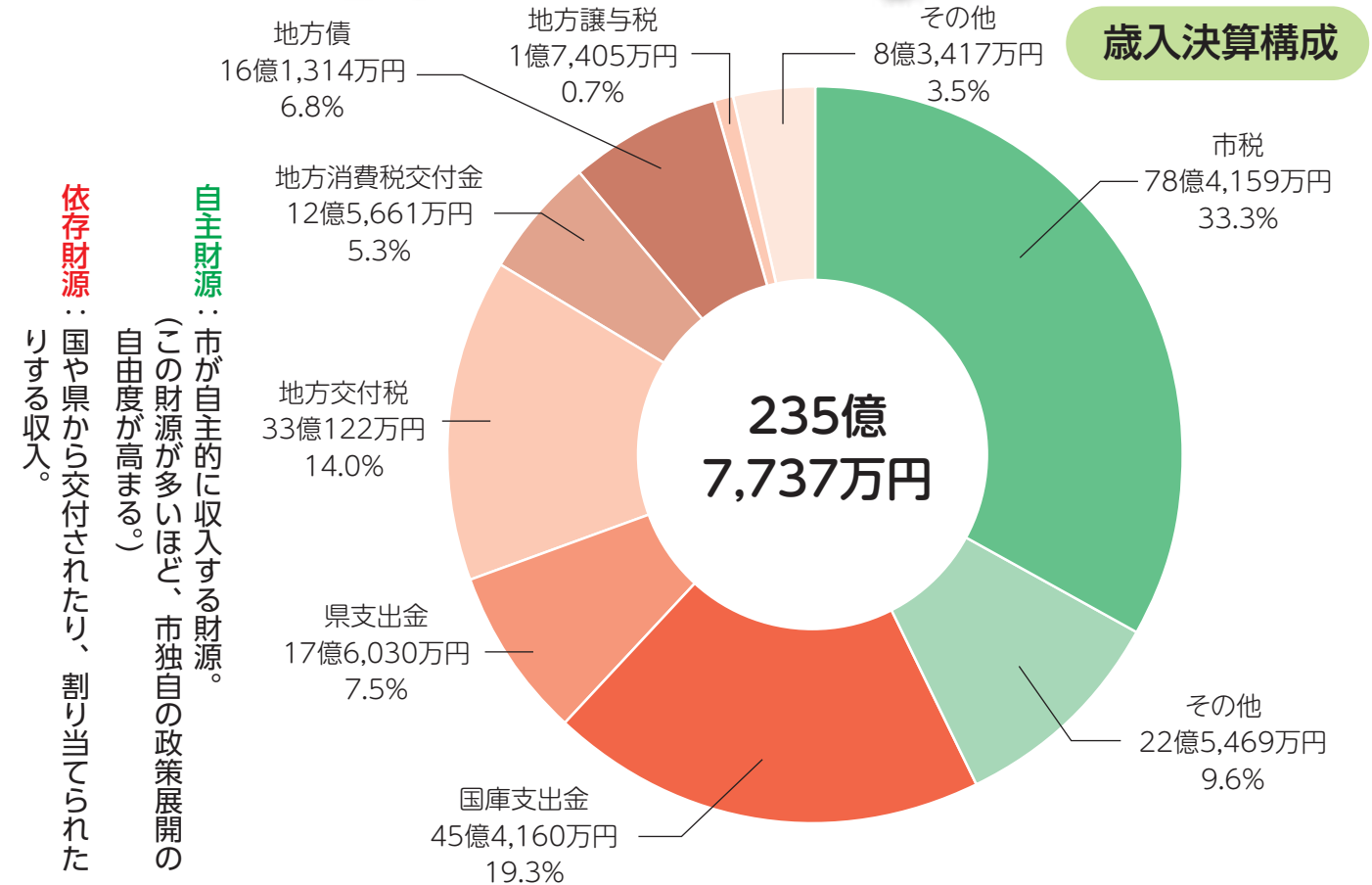
投資的経費… 道路、橋梁、公園、学校、公営住宅の建設等、社会資本の整備等に要する経費。

その他経費… 維持補修費・積立金・投資及び出資金・貸付金などの裁量度が高い経費。

入ったお金

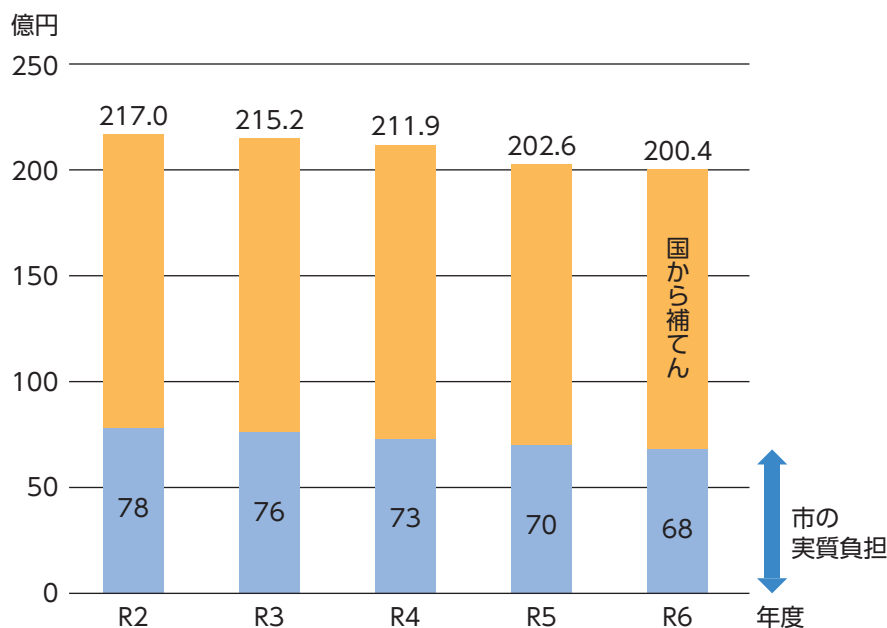
歳入 235億7,737万円

歳入決算構成



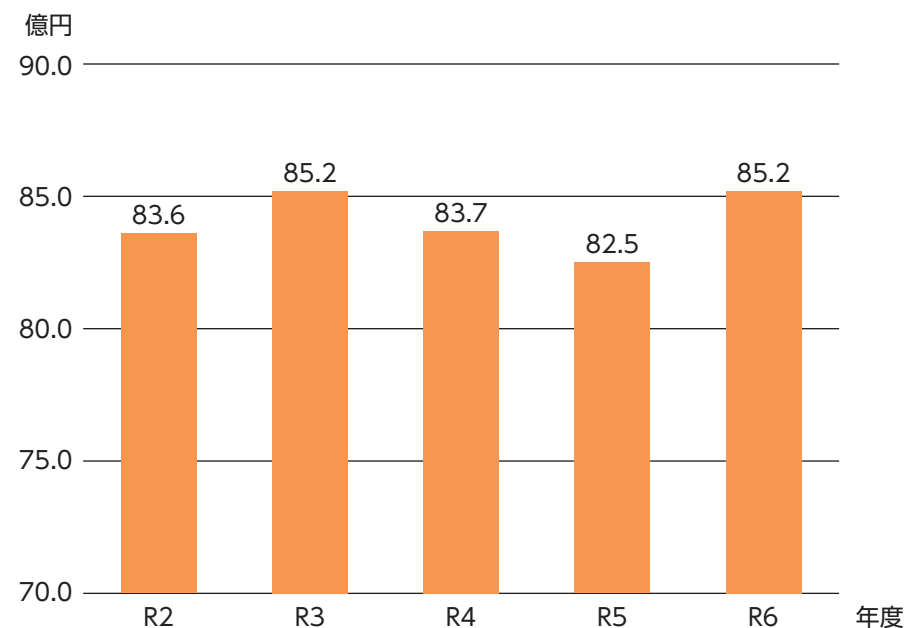
自主財源… 市が自主的に収入する財源。(この財源が多いほど、市独自の政策展開の自由度が高まる。)

依存財源… 国や県から交付されたり、割り当てられたりする収入。



借金にあたる地方債残高は、前年度から約2.2億円減の200.4億円となりました。地方債の発行にあたっては、後年度に交付税措置がない地方債の発行抑制を継続し、後年度に交付税措置のある有利な地方債を活用することで、実質的な市の負担額は約68億円となっています。

地方債残高の推移



預金にあたる基金残高は、旭丘中学校校舎の長寿命化改良などの財源として公共施設整備基金から2.3億円を繰り入れましたが、財政基金の取崩しは行わず、さらに財政基金等へ5.5億円積み立てた結果、前年度から約2.7億円増の85.2億円となりました。

基金残高の推移



過去最高のプレミアム率50%のおの恋らっきゃプレミアム商品券



長寿化改良工事が完了した旭丘中学校校舎



浄谷黒川丘陵地利活用構想を策定



令和7年度に開通する新都市南北線



市制70周年記念式典の様子

消防職員は現在74名いるが、救急出場の現状は人員は適正に確保されているのか

令和6年中の救急出場件数は2,774件、救急搬送人員は2,535人（前年比36人増）で、うち65.9%は高齢者である（同3.2%増）。大規模災害や事案の重複等、一度に多くの人員を必要とする場合には課題があるが、現状の人員により、平時では各署において常時2名の救急救命士が乗車するなど救急出場体制を維持している。

統合型GIS導入による効率化と市民に提供できるサービスは

統合型GIS（地理情報システム）は、各部署で管理していた地図情報を一元化し、庁内横断的に共有、活用ができるようになるなど、事務処理の迅速化や効率化が可能となるシステムである。例えば国勢調査においては、このシステムの構築により事前準備に係る作業を大幅に短縮できている。また、市民に提供できるサービスは都市計画情報、防災情報（ハザードマップなど）、安全安心情報（消火栓・AEDなど）、コミュニティバス情報、公共施設情報などがある。

小野希望の丘陸上競技場「アレオ」の使用料や利用割合について

令和6年度の使用料総額は740万円、利用者数は21,632人。その内陸上競技としての使用料割合は約1割、サッカー等の使用料割合は約9割となっている。利用人数の割合は陸上競技が2割、サッカー等が8割となっている。なお、市民が陸上競技で使用する場合は無料となっている。高体連からの利用希望や市が連携しているFCバサラ兵庫もアレオを利用しており、当該施設は知名度を上げつつある。

水道事業において衛星画像広域漏水検知事業で漏水を検知した件数は

令和6年度に兵庫県下25事業体で衛星を利用して上水道の漏水調査を実施した。小野市内では約50Kmの調査対象管路中で約14%に当たる121箇所で漏水の疑いを検知した。衛星からの調査であるためピンポイントでの検知は難しく、検知箇所の大きさは直径200mの円で表示される。漏水の疑いのある121箇所の音響調査を令和7年度に実施予定である。

◆未来を築く“持続可能な小野市”の実現を目指して◆

歳出決算額

一般会計	224億6,847万円
特別会計 (国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療)	99億9,793万円
都市開発事業会計	1,325万円
水道事業会計	20億2,292万円
下水道事業会計	27億8,205万円

市議会が check!



＼詳細は市ホームページで／



9月定例会に提出された決算に係る議案を予算決算常任委員会に付託し、一般会計、特別会計及び企業会計の決算について、審査を行いました。

2日間にわたり、市が目的に沿って予算を適切に執行したかを慎重に審査し、その結果、全会一致で認定いたしました。

令和6年度 決算認定

おの恋らっきゃプレミアム商品券の利用状況や実施した効果について

プレミアム率50%で15,000円分使用できる商品券を1冊10,000円で販売し、51,328冊発行した。スーパー・ドラッグストア等、食料品や日用品の購入によく利用された。登録のあった430店舗のうち、実際に利用されたのは369店舗。地域券については、食料品等に加え、制服や体操服などの購入にも利用されており、子育て世帯への支援にも一定の効果があったと推察できる。

アフタースクールの支援員等処遇改善事業補助金があるが、処遇改善の状況は

放課後児童支援員等の処遇改善のため、市内9ヶ所で実施する2事業所に対して292万9,300円の補助金を支出した。結果として、1人当たり月額平均3,698円の賃金改善に繋がった。

带状疱疹予防接種の助成について

全額自費であった接種費用が一部助成され、1回4,000円を助成する自治体が多いところ、小野市は独自で8,000円の助成を行った。初年度の接種率は3.5%で近隣市や国の助成が始まる前から単独で助成をしていた自治体と比較しても高い数値となった。令和7年4月からは、65歳の方などへの接種が予防接種法に基づく定期接種の対象となり、自己負担額は生ワクチン4,000円、不活化ワクチン1回あたり10,000円（2回接種）となっている。

病院の市負担金である令和6年度補正額の1.3億円を繰越明許費にした理由について

病院の負担金は小野市・三木市両市の合意に基づいて支出するが、令和6年度補正分に関しては、三木市は負担金の増額分が予算計上されておらず、小野市のみでの支出はできないことから、繰越処理を行うこととなった。

審議議案の中から PICK UP!!

<改正前>		<改正後>R8.4.1以降	
	納期数		納期数（納付月）
個人住民税	10回		4回 (6月・8月・10月・1月)
固定資産税 (市内)	10回		4回 (5月・7月・12月・2月)
国民健康保険税	10回		9回 (7月～3月)
介護保険料	10回		9回 (7月～3月)

市税等の納付回数が変わります

①これまで小野市では、個人市民税（普通徴収）と固定資産税において市独自で10期納期を採用していました。しかし、全国の地方公共団体の基幹業務システムの統一化・標準化に伴い、令和8年度から4期納期へ変更します。また、国民健康保険税と介護保険料についても10期納期から9期納期に変更します。（議案第41号・43号）

市税等の納付回数が変わります

第455回 9月 定例会

会議期間29日間
(9月1日～9月29日)

市長提出議案：17件（決算4件・補正予算6件・条例6件・人事1件）

特定親族特別控除が新設されます

②個人住民税に関して、19歳以上23歳未満の親族について、合計所得金額が58万円を超え123万円以下においても最大45万円の控除が受けられるようになります。（議案第41号）

たばこ税の課税方式が変更されます

③加熱式たばこのうち紙等で巻いた加熱式たばこについて0.35グラムをもって紙巻きたばこ1本に換算し、それ以外の加熱式たばこについては0.2グラムをもって紙巻きたばこ1本に換算されるようになります。（議案第41号）

督促手数料を見直します

④郵便料金等の値上げに伴い、納期限超過未納者に送付する督促状の発布事務に關し、実費相当である督促手数料について市税、介護保険料、後期高齢者医療保険料及び下水道事業受益者負担金について現行の100円から200円に見直します。（議案第41・43・44号）

《施行日》

令和8年4月1日から
ただし、②に関しては令和8年1月1日から

小野市立幼稚園の預かり保育等が変わります

令和8年度に開園する「おの幼稚園」において、

①預かり保育料を1日500円から450円に減額し、預かり保育時間を従来の午後4時から30分延長し、午後4時30分までとします。また、夏季、冬季、春季の長期休業期間においても預かり保育を実施します。

②保護者の就労等で保育が必要な子ども（新2号認定）を受け入れるとともに、新2号認定を受けた児童の預かり保育を実質無償化とします。（議案第45号）

《施行日》

令和8年4月1日から

※新2号認定とは：保育の必要性が認められる（働いているなど）家庭の3歳から就学前までの子どもが、幼稚園の「預かり保育」などを利用する際に、幼児教育・保育の無償化制度の対象となるための認定区分です。認定を受けるためには、市から「施設等利用給付認定」を受ける必要があります。

安全安心パトロールにおいて、時代の変化に応じて強化されている活動は

駅や公園などの防犯パトロール、カーブミラーや道路落下物の処理など警察や行政の目の行き届かない隙間を埋める活動を展開している。近年では、SNSを利用した特殊詐欺被害などが広がり、地域での集まりや年金支給日に合わせた金融機関・ATM周辺などで高齢者の方に対する注意喚起、出前講座での防犯教室開催など特殊詐欺等防犯に関する啓発を引き続き強化する。



プラスチック製ドラム缶

ペーパーレス化や文書管理システム導入による効果は

DX推進の中で、令和6年度に文書管理システムを導入し、庁内Wi-Fi化が完了した12月頃からはペーパーレス会議を積極的に推進するなどし、紙の使用枚数は前年度に比べ約75万枚減（13.5%減）、金額にして約120万円減（11.8%減）となった。また、定量調査は行っていないが、この取り組みは、会議資料の印刷、製本などの業務量も削減できていると考える。

ごみステーション美化推進事業、プラスチックドラム缶交換の進捗について

ごみステーションのスチール製ドラム缶からプラスチック製ドラム缶へ交換を希望する自治会に対して、令和6年度から令和8年度の3年間を集中期間として無償で交換している。令和6年度は、対象となる92自治会中、申し込みのあった62自治会全てに対して無償交換が完了した。

財政関係指標 見る小野市の状況

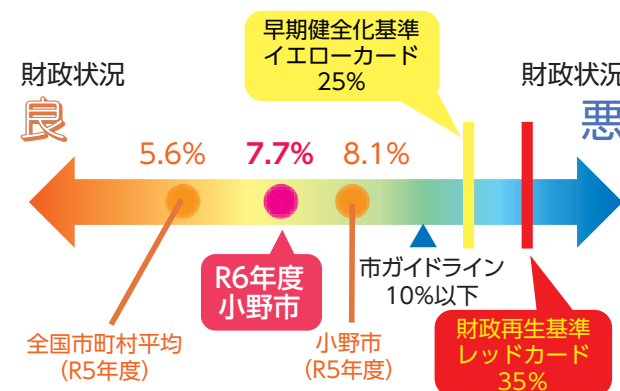
財政力指数

市の財政基盤の強弱を示し、指数が高いほど財政基盤が強いことを示す。



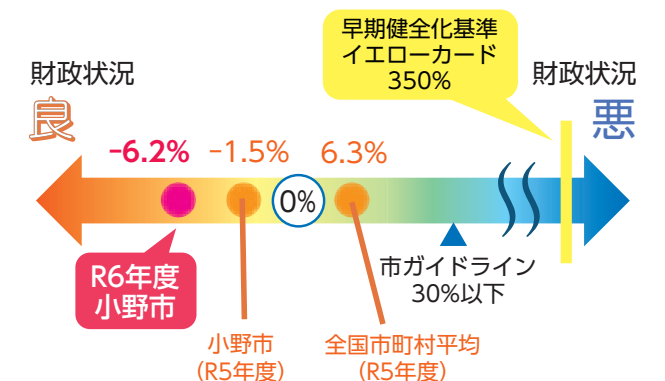
実質公債費比率

税収や交付税など市の収入に対する借金返済費用の割合。



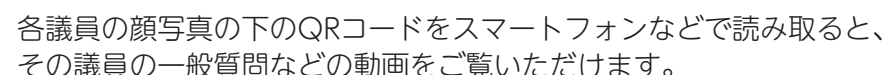
将来負担比率

税収や交付税など市の収入に対する一般会計が将来支払うべき借金など負担の割合。





(一般質問は発言した議員が編集しました)

 $\angle$

区分	議案番号	議 案 名
人事	第 47 号	小野市教育委員会委員の任命について 小野市池田町 石原 友紀 氏



QRコード



酷暑期のスポーツ施設早朝開放を！

答弁 要望があった場合前向きに知恵を絞りたい

質問 地球沸騰化が叫ばれ、40℃を超える日も珍しくなってきたており、酷暑期の屋外でのスポーツは大変危険を伴う。そんな中でも、午前6時から9時頃までと、午後4時から7時頃までの比較的涼しいとされる時間にスポーツ施設を開放し、市民が快適にスポーツにいきしむことができる環境を整えることを提案する。

答弁 市民サービス向上の観点から、「費用対効果」を加味し、全ての施設を開場するのではなく、利用者ニーズに応じて、それぞれの競技別に施設を指定し、要望があった場合には、対応できるよう前向きに知恵を絞りたいと考えている。

（市当局）

質問 高齢者が健康で充実した人生を送るための支援として、白内障手術後のメガネ購入補助及び加齢性難聴による補聴器購入の補助を提案する。

答弁 白内障手術後のメガネ購入補助については、令和7年度において県内で実施している自治体はなく、白内障という特定の病気に対してのみ補助を行うことは考えていない。加齢性難聴による補聴器購入補助については、障害認定に該当する重度の難聴者に対して、基準額の9割の助成があることから、難聴の程度が比較的軽い方に対する市独自の助成は今のところ考えていない。

（市当局）



QRコード



小野まつり会場へのアクセスは

答弁 雑踏密度の緩和と緊急時の通路確保を優先した

質問 小野まつりにおける高齢者対象のシャトルバスの運行について

答弁 昨年度シャトルバス用の専用通路として交通規制していたJ A兵庫みらい小野ライスセンター前の市道について、今年度は歩行者専用通路及び観覧スペースに変更して交通規制を行った。その結果、雑踏密度が緩和され、安全安心な小野まつりが実現できた。高齢者対象のシャトルバスの運行については、花火当日の道路状況は大変渋滞するため、シャトルバス運行用の交通規制を行わない状況では、シャトルバスの運行は難しいと考える。

（市当局）

質問 市民限定の近場の臨時駐車場の確保について

答弁 かつて民間の駐車場アプリを

用いて市民向けの駐車券を発行することについて検討を行ったが、個人情報保護や駐車区画割の問題があり、駐車場を設けることができなかった経緯がある。これから、市民の皆様楽しんでいただけるように、小野まつり実行委員会で議論を重ねていきたい。

（市当局）

質問 安全安心パトロール隊員の増員について

答弁 単純に人数や活動量の問題ではなく、警察官OBのプロの視点を活かした活動により市民生活の安全安心を高めていくことが重要であるため、量より質の充実が肝要である。したがって、隊員を増員する考えはない。

（市当局）



QRコード



リモコン草刈機の導入について

答弁 市の現状に即した導入支援策の研究を進める

質問 地域の草刈りを支援する取組について。

答弁 リモコン草刈機の導入が、労力軽減やスマート農業の促進に効果的だと認識する。国や県の補助制度のPRを継続し、草刈りを業務とする事業者の育成等、市の現状に即した導入支援策の研究を進める。

（市当局）

質問 アライグマ等の特定外来生物の捕獲推進について。

答弁 昨年度はアライグマ464匹、ヌートリア101匹を捕獲。本年度は昨年度を上回る勢いで推移している。捕獲については、猟友会等に委託しているが、新たに市民参画による捕獲の担い手を増やせないか検討している。今後、捕獲後の処分や安全性の確保等、実施に必要な事項について研究を進める。

（市当局）

質問 「空家特区制度」に関する市の考え方について。

答弁 空家特区を制定する側と活用する側に温度差があると考えられる。その解消方法として、地域住民の合意形成等が必要であると考え、今後も地域の要望に基づき、地域住民に十分周知していく。

（市当局）

質問 空き家のニーズ調査や区長会で説明をすべきでは。

答弁 市内の不動産業者から市街化調整区域の空き家にも潜在的な需要があると聞いており、市がニーズ調査を進めることは現在のところ考えていない。また、昨年、各自治会長に空家特区制度の説明を行った際には消極的な意見が多く、導入に興味を示す自治会がまだ出ていない状況である。

（市当局）



QRコード



地元の誇り「東洋の耳」跡地は？

答弁 新たな資産を生み、将来の人たちへの贈り物！

質問 土地が稼ぐ産業用地としての土地活用を

答弁 国の産業用地適地選定調査に応募し、関西地方で唯一小野市が採択された。昭和の時代には浄谷黒川丘陵地は「東洋の耳」（無線の鉄塔拠点）と言われ、地元の誇りとなる土地であった。今後人口が減少しても、この土地が固定資産税等の税収を生み、小野市の発展を支える場所となるよう産業団地として開発を進めていきたい。

（市当局）

答弁 将来の人たちへの贈り物として、市民と共に生き続けていくよう叡智を結集して開発を進めていく。

（市長）

「春の香り」上映への取り組みは？

質問 小野市出身の「丹野雅仁」映画監督の作品「春の香り」、小野市での上映は？

答弁 小野名画劇場の特別枠として、令和8年1月10日（土）に上映が決定した。「春の香り」では「生き抜く力」を市民の皆さんに改めて知ってもらいたい。

（市当局）

統廃合後、校歌は？

質問 大部中・下東条中・来住中・市場中の校歌は？

答弁 大部中は歌詞・楽譜共に現存していた。来住中では歌詞はあったが楽譜は存在せず、校歌を歌い、楽譜の復元を試みた。下東条・市場についても歌える方の御協力を得、楽譜の復元に務める。心のよりどころである校歌、建学の精神や校風、歌詞に込められた願いや記憶は、地域の方々には生き続けている。

（市当局・教育長）

答弁 当たり前の事を当たり前に、市長部局も教育部局と連携して対応していく。

（市長）

小野南中学校体育館 空調設備稼働状況を視察

7月24日
小野南中学校

この日、小野市の最高気温は33度超でしたが、エアコンの稼働により館内の温度は28度以下に保たれ、快適かつ安心して活動できていることを確認しました。



生徒さんの感想：「快適な環境なので部活が楽しい」、「屋外で部活動をしている生徒がクーリングに使えているのでいいと思う」

先生より：「熱中症では？と常に生徒の顔色を気にしていたが、今日は心配が和らぎました」

空調の設置により、熱中症予防や災害時の地域防災拠点の避難所としての防災機能が強化されたことを確認しました。

全ての中学校で設置が完了し、今後、市内特別支援学校、小学校の体育館にも空調設備が設置されます。（令和8年4月供用開始予定）

トライやるウィーク後半の部 議場見学

9月1日



Q.市役所を選んだ理由は？

A.将来、自分が目指さないであろう職業をあえて見学し、どんな仕事をしているのか見てみたかった。

他にも、「実際に来てみてどうでしたか？」、「小野市のいいところや、もっとこうなって欲しいというご意見はありますか？」など、会話をしながら、議会の仕組みについてお話をしました。

議会活動の活性化に向けた取り組みについて

議会調査研究活動とは

小野市議会では、平成29年に廃止した政務活動費に代わり、調査研究活動費を執行しています。議員自らが企画立案し、議会の承認を経て実施することで用途の透明化を図っています。また、視察後には全議員が参加する議員研修会で情報共有を行っています。

派遣議員（5名：10月21日(火)～22日(水)）

派遣先：中東遠総合医療センター（静岡県掛川市）
掛川市地域包括ケア推進課（静岡県掛川市）
公立西知多総合病院（愛知県東海市）

目的：統合病院の経営の現状・課題・先進事例を学び、今後の持続可能な医療の提供等小野市の政策に生かすため。

常任委員会視察とは

地方自治法第109条第2項の規定に基づき各常任委員会で自治体の先進事例などを調査・研究し、市政に活用しています。

今後の予定

民生地域常任委員会の視察
(11月5日(水)～7日(金))

- ①シェア金沢について（石川県金沢市）
- ②スマート農業について（石川県白山市）
- ③ふく育県取組について（福井県福井市）

※議会活動については随時ホームページで公開していますのでぜひご覧ください。



市議会HPIはこちら

小野市流の重層的支援の目指す姿は

答弁 福祉を通した「地域づくり・人づくり・市民の幸福」

質問 複合ケース支援会議に係った件数及び結果は。

答弁 令和6年度に重層担当職員が対応した相談件数は延べ119件で、このうち包括的な支援が必要な世帯について複合ケース支援会議を随時・定期合わせて30回開催した。令和6年度中に支援を開始したケースが28件、その後、課題の解決等により終了したケースが19件、令和7年度への継続ケースが9件となっている。（市当局）

質問 民生児童委員に関しても重要な支援者となると考えているが、民生児童委員との協力体制については。

答弁 全8校区の連絡会でそれぞれ協力依頼をしている。今までは、8050問題の相談先がわからず苦慮していたが、重層的支援が始まるこ

とで、民生委員からも「相談先がはっきりしてかなり助かっている」との意見があった。（市当局）

質問 小野市はあまり他市のようにホームページなどでの重層的支援体制整備事業を積極的にPRをしていない理由は。

答弁 まずは、民生委員等の支援者等や専門機関（地域包括支援センター等）に対して相談いただき、市が総合的支援体制を整える事業であるため。（市当局）



8050問題

河島三奈議員（市民クラブ）



QRコード



藤原 章議員（日本共産党）



QRコード



米と農業を守る施策の充実を

答弁 儲かる農業にすることが再生の道

質問 昨年来の米不足と価格高騰で、日本の米作りと農業のあり方が大問題になっている。この機会に小野市の農業施策を見直し、振興策を強化するべきだ。

答弁 米の値段が上がれば消費者が困るが、それをどう守るかは違う次元で考えるべきである。補助金や交付金を出すことによる再生は難しく、問題の本質は儲かる農業にならないことだ。（市長）

浄谷・黒川丘陵地の産業用地開発は反対

質問 浄谷・黒川丘陵地は、豊かな自然林が残っており、保全することは非常に重要と思うので、産業用地としての開発は反対する。

答弁 浄谷・黒川丘陵地は新ごみ処理施設の計画が進捗し、令和6年には新たな土地利用構想を策定している。この構想は、当初計画にあった

自然環境を残しつつ、一部を産業用地として転換する内容としたものであり、企業が進出する場合には、建築物の意匠等も自然と調和するように協議したい。（市当局）

福祉給付制度適正化条例は廃止か改正を

質問 令和6年度の情報提供件数と条例制定後の実績は。

答弁 昨年度は、生活保護3件、児童扶養手当1件の計4件で、条例施行後の総数は117件。その後の対応としては、生活保護適用4件、保護費返還1件、児童扶養手当喪失9件、過度の費消に対する改善指導16件。（市当局）

質問 この条例は受給者の基本的人権や尊厳を傷つける恐れがあり、廃止か改正を求める。

答弁 成果・実績もあり、廃止・改正の考えはない。（市長）

常任委員会審査報告

9月定例会の提出議案審査について、予算決算、総務文教、民生地域の各常任委員会を開催し、当局から細部にわたる説明を受け、慎重に審査しました。

＜予算決算常任委員会＞（令和6年度決算はP2～6をご覧ください。）

9月17日、18日開催

付託議案数：10件（議案第31号～第40号）

審査結果：反対討論はなく、全会一致で可決すべきものと決定。

●主な審査内容

補正予算については、技術職の育成を含む人員体制の状況やDX導入による事業効果などを確認しました。決算議案については、各事業の実施状況や効果について確認し、さらには物価高騰緊急対策として、市制70周年記念の一環でプレミアム率を50%まで引き上げて実施した「第6弾 おの恋らっきゃプレミアム商品券」等を含め、即効性のある経済対策などを実施しつつも市独自で定めたガイドラインを依然としてクリアするなど、健全財政を維持していることを確認しました。

＜総務文教常任委員会＞

9月24日開催

付託議案数：4件（議案第41号～第42号、第45号～第46号）

審査結果：反対討論はなく、全会一致で可決すべきものと決定。

●主な審査内容

自治体情報システムの標準化に伴い、市税の普通徴収の納期数が10期から4期に減ることで、1期当たりの納付金額が増加するなど混乱を招く恐れがあることから、市民への事前周知の方法について確認しました。また、議案第45号については令和8年度から開設する「おの幼稚園」において、保護者の就労等で保育が必要な子ども（新2号認定）を受け入れるとともに預かり保育を実質無償化するにあたり、市域全体での円滑な教育・保育の推進を図る観点から、関係各所との調整や受け入れ時間の確認を行いました。

＜民生地域常任委員会＞

9月24日開催

付託議案数：2件（議案第43号～第44号）

審査結果：反対討論はなく、全会一致で可決すべきものと決定。

●主な審査内容

令和8年度からの督促手数料の見直しにかかる督促に至る流れや、国民健康保険税等の期別変更に伴い、市民が混乱しないよう周知を徹底していくことを確認しました。

総務文教常任委員会視察報告

令和7年8月5日(火)～令和7年8月7日(木)

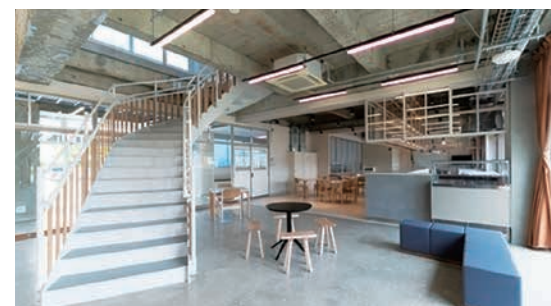
★保・幼・こ・小※連携の取り組みについて（岩手県花巻市）



✓子どもを取り巻く環境が変化する中で、幼児期後期から小学校期への連続性に注目し、各園と小学校の垣根を越えてカリキュラムを共有し交流事業の円滑化を図るなど、関係機関の連携強化により、継続し続けられる体制の構築に熱意をもって連携事業に取り組まれていた。

※保＝保育園、幼＝幼稚園、こ＝こども園、小＝小学校

★にぎわい創造活性化事業及び『Link MURAYAMA』について（山形県村山市）



✓廃校となった県立高校跡の施設を市が取得してリノベーションを行い、市民と民間事業者双方に使いやすく利用できる施設とする他、子育て支援の施設としてのスペースも確保されるなど、「多様な利用者が集い、にぎわいの創出と経済効果を生む拠点施設」として、“再生”に留まることなく、まちにさらなる賑わいをもたらす先進的な取組であった。

画像引用元：<https://link-murayama.jp/about/>

★消防団参集アプリについて（福島県須賀川市）



✓消防団に求められる役割が多様化する中、住民の安全はもとより前線で活動する消防団員の安全を確保するため、災害情報の迅速な発信が可能となるアプリを活用した消防団活動が行われている。アプリ開発者自身も現役の消防団員であることから、東日本大震災の経験を経て、求められるニーズを細かく把握されている。消防団活動の迅速化、簡略化に貢献、須賀川市のみならず、このアプリの活用が全国的に広がりを見せていることは、抱える課題に共通性も伺われ、市民・事業者・行政が連携して改善に取り組まれていることが、さらなる成果につながっているものとする。

画像引用元：消防団専用アシストアプリS.A.F.E.
<https://gcd.main.jp/safelp/>

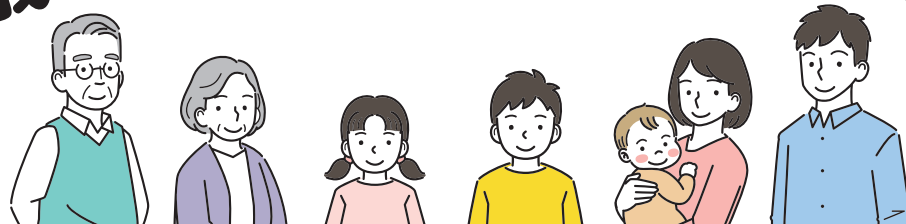
★視察を終えて

今回の研修を通し、社会を取り巻く環境が大きく変化し、課題が山積する中で、先手管理による取り組みの重要性を再認識し、あらためて小野市の取組の再確認と更なる推進に向けて検討を進めてまいりたい。



報告の詳細はホームページで！

議会を傍聴しませんか？



令和7年12月定例会(予定)

※変更となる場合があります。

日	月	火	水	木	金	土
11/23 勤労感謝の日	24 振替休日	25	26	27 本会議1日目(開会) (10:00～) 議案説明	28	29
30	12/1	2	3 託児申し込みメ (11・12日分) 手話通訳・要約筆記 申し込みメ (11・12日分)	4	5	6
7	8	9	10	11 本会議2日目 (10:00～) 一般質問 ※懇話会あり	12 本会議3日目 (10:00～) 一般質問 ※懇話会あり	13
14	15	16	17	18 予算決算常任委員会 (10:00～) 総務文教常任委員会 (13:30～) 民生地域常任委員会 (総務文教終了後)	19	20
21	22	23 本会議4日目(閉会) (13:30～) 議案の採決など	24	25	26	27

※議会と市民との懇話会 … 一般質問を行う日の本会議休憩中に、傍聴者の方からご質問をいただく機会を設けています。

※託児コーナー開設 … 一般質問を行う12月11日(木)、12日(金)は、「託児コーナー」を開設します。

傍聴の際には、1歳から就学前のお子様をお預かりします。

12月3日(水)までに議会事務局までお申し込みください。(費用負担はありません)

※手話通訳・要約筆記 … 本会議を傍聴される際に「手話通訳」・「要約筆記」を利用することができます。

希望日の8日前までに議会事務局までお申し込みください。(費用負担はありません)

議会傍聴者数

9月定例会
27名

(令和7年度累計67名)

傍聴方法

本会議の受付場所 市役所6階

傍聴者名簿に住所・氏名を記入

※入退場自由/定員38人

※耳が聞こえにくい方も傍聴できるよう磁気ループを設置しています。

各委員会の受付場所 市役所6階

傍聴者名簿に住所・氏名を記入

ネット中継視聴方法

本会議の様子をパソコンやスマホ等いつでも視聴できます。(ライブ中継・録画視聴) 過去2年分の録画中継が視聴できます。

小野市議会

検索



ネットで気軽に閲覧



アプリをダウンロードするとスマホに広報紙が届きます！



《お申し込み先》 議会事務局 TEL. 63-1006 (直通) FAX. 63-4108
E-mail: gikai@city.ono.hyogo.jp (市議会だよりへのご意見もこちらまで)

【市議会報編集委員会】
委員長 平田真実
委員 藤原章
委員 安達哲郎
委員 前田昌宏
委員 山本麻貴子
委員 村本洋子
委員 河島三奈
委員 高坂純子

(市議会報編集委員 河島三奈)

今号は主に、令和6年度決算審査について掲載しています。小野市議会ではコロナ禍以降予算決算審査は事前通告の形を継続しています。数ある決算に関する質問を全168項目にまとめ2日間、にわたり審査を行いました。小野市は健全財政を維持しておりますが、人口の減少など大きな課題を前に、市単独では乗り越えにくい問題も顕著になってきています。今後、も大局的な視点を大切に「議会の機能」を体現してまいります。

あとがき

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。